

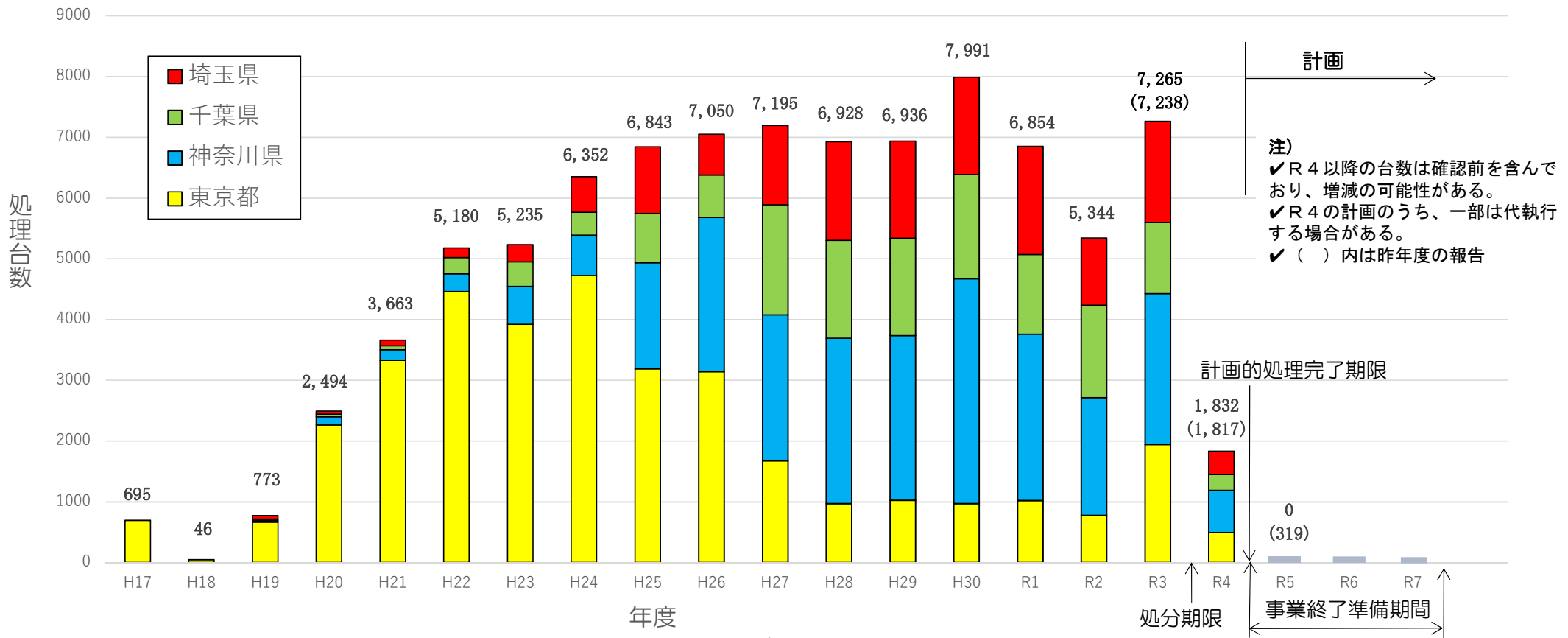
# JESCO東京事業所の高濃度PCB処理の状況について

**資料 2**

令和4年10月13日  
東京都環境局

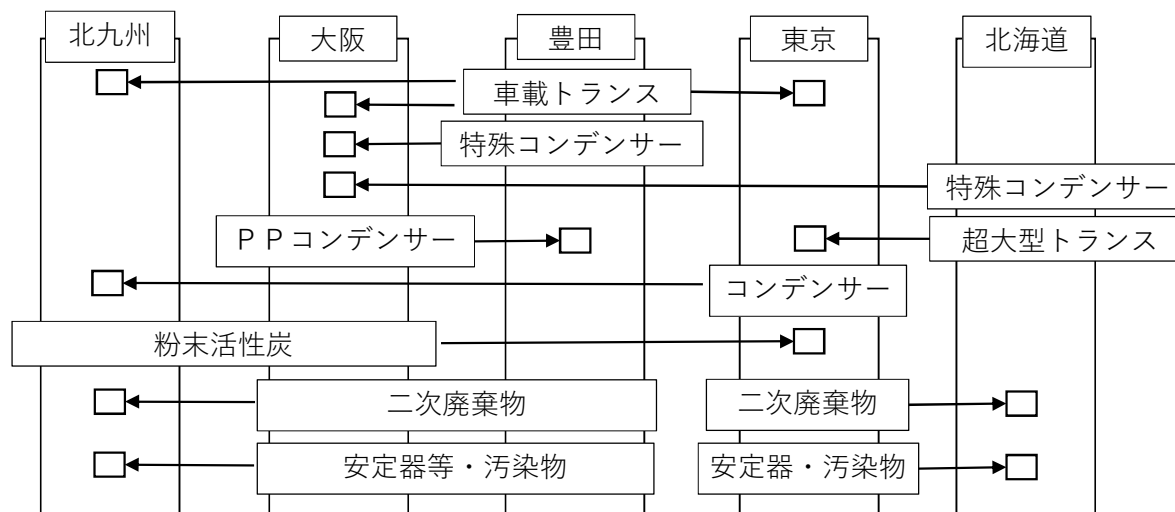
## 1 これまでの処理台数の推移と今後の処理見通し（変圧器・コンデンサ）

- 平成17年度から処理を開始し、令和4年度末までに、1都3県分の累計で約89,000台を処理する見込みである。
- 令和5年度、6年度、7年度にできるだけ処理をしないですむよう、立入指導、改善命令、行政代執行を徹底する。



## 2 東京事業エリア外からの処理対象物の処理状況

- 当初予定より処理が遅れていたため、平成26年、国は日本全体での処理推進のため、各事業所毎の長所を生かし相互に処理能力を活用することとした。（下図参照、平成26年6月の臨特委で説明済み）
- 東京事業所で処理することとなった「超大型変圧器」及び「車載変圧器」については処理が完了している。
- 北九州エリアの粉末活性炭は処理が完了、一方、大阪エリアの粉末活性炭は令和5年度中に処理が完了する見込みである。（下表参照）



種類・区分	事業エリア	単位	処理対象量	処理量	処理残量	備考
超大型変圧器	北海道	台	5	5	0	完了
車載変圧器	豊田	台	30	30	0	完了
廃粉末活性炭	北九州	t	7.6	7.6	0	完了
	大阪	t	233.2 (225.4)	169	64	令和5年度中処理完了見込み

( ) 内は昨年度の報告

令和4年7月1日現在

### 3 これまでの都の取組について

#### (1) 掘り起し調査

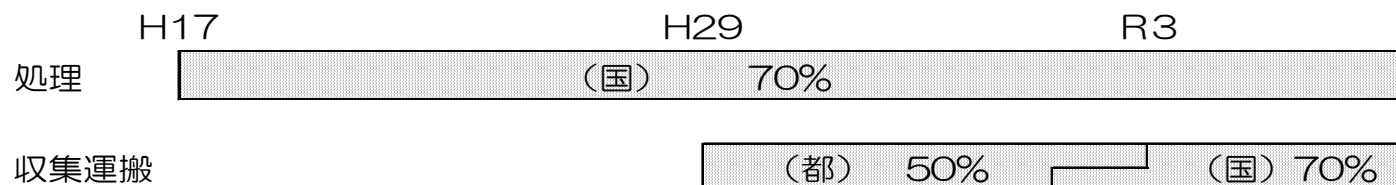
- 期限内処理のためには未届け事業者の把握が重要であり、環境省が「掘り起こし調査マニュアル」を作成し各自治体に通知した。
- 平成27年度以降、この「掘り起こしマニュアル」に則り、一都三県の自治体は本格的な掘り起し調査を順次開始した。
- 調査には、電気工作物の届出情報、電気絶縁物処理協会データなどを活用して実施。協議会、研修会等を通じ他自治体のノウハウを共有した。
- 令和3年度末現在、一都三県の合計で約19万事業所を調査し、約3,500台の変圧器・コンデンサが掘り起こされている。

#### (2) 国、各自治体、JESCO、各種業界団体との取組

- PCB適正処理研修会、PCB廃棄物早期処理連絡会、東京PCB廃棄物処理事業に係る首都圏広域協議会、4者協議会など、計画的処理完了期限に向けて、ノウハウの共有など情報交換を行うとともに、対応が困難な事業者に対して、国、各自治体、JESCOが一体となって対応を行っている。
- 業界団体を通じて、PCB廃棄物処理に向けた普及啓発、未届け事業者の把握及び指導助言を行っている。

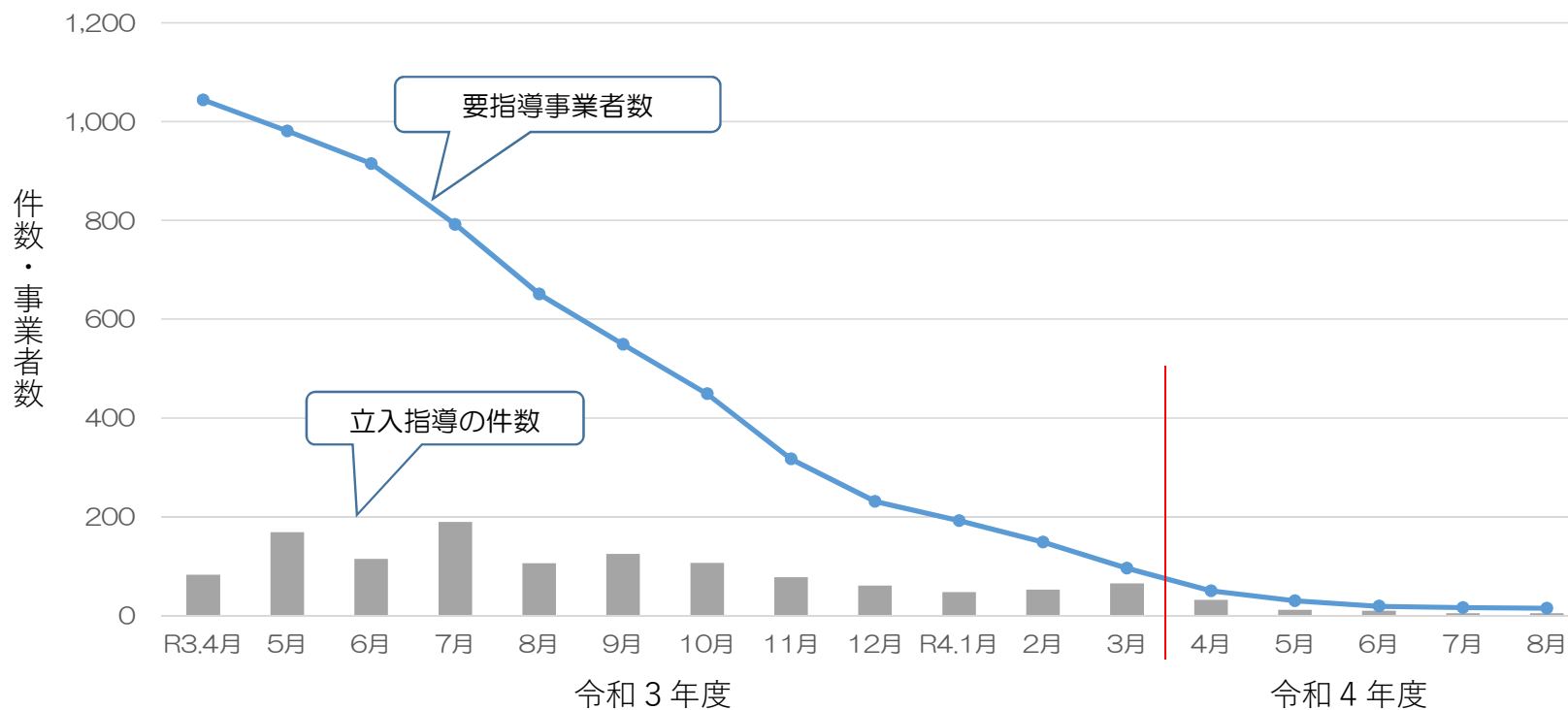
#### (3) 中小企業等への補助制度の創設

- 国補助が「処理費用」のみだったため、平成29年度、都は独自に「収集運搬費用」を対象に補助制度を創設した。
- その後、令和2年度中に国が収集運搬にも補助を拡大し、変圧器及びコンデンサについての都補助は令和2年度末で終了した。



#### (4) 立入指導の徹底

- 都は、従来から未処理事業者に対して、立入指導を実施していたが、処理期限が目前に迫った令和元年度及び令和2年度には、計約900の事業所に立入指導を行った。
- しかし、令和2年度末時点において、約1,000事業者が未処理の状況であったため、処理期限を迎える令和3年度は、職員をさらに増員し、立入指導を一層強化することで約1,300事業所に立入り指導を行った。
- 令和4年度は、年度当初に未処理の約100事業者に対して、改善命令、行政代執行の実施を見据え指導を徹底している。8月末現在では、処理が遅れている約10件の事業者への指導に取り組んでいる。



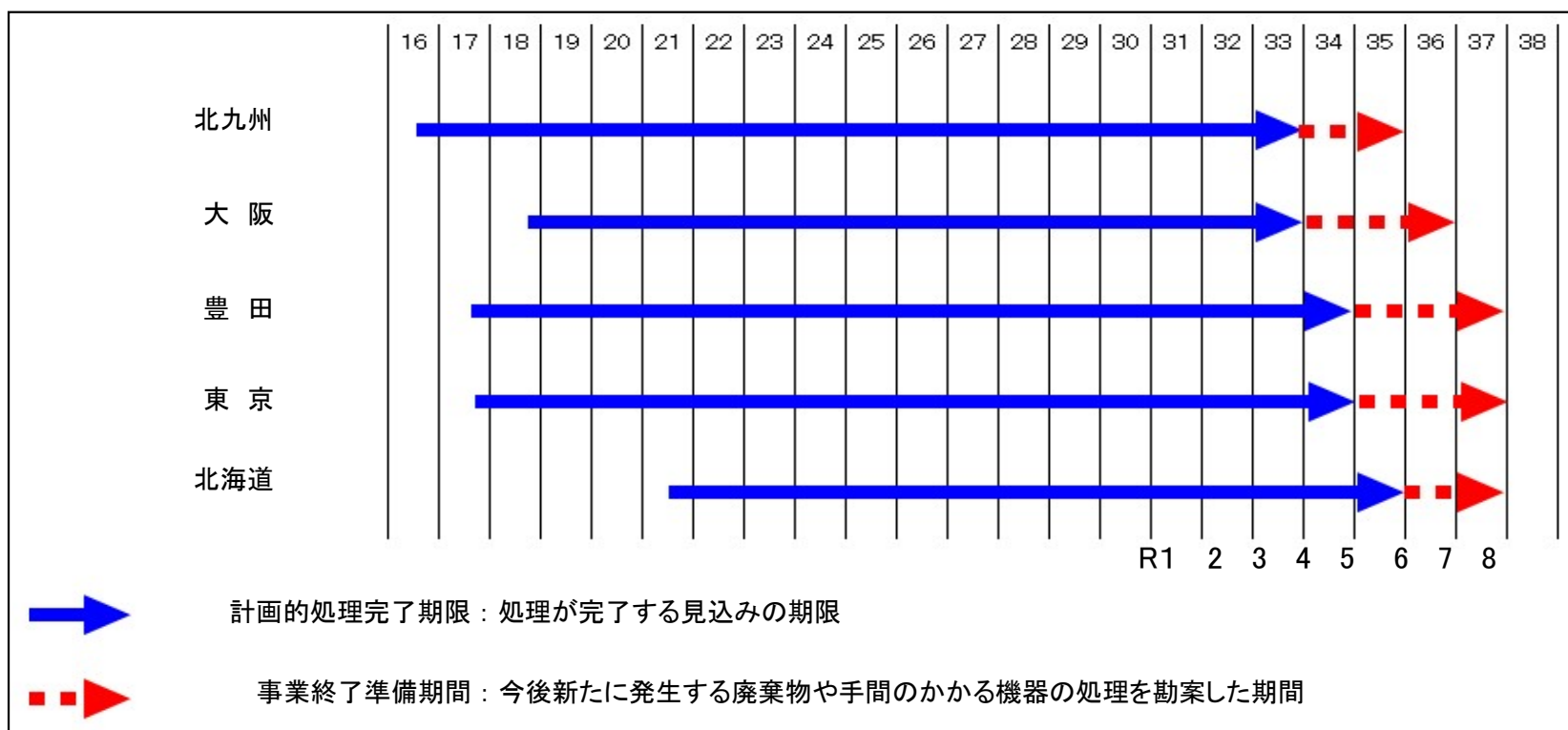
#### 4 JESCO東京事業所の設備保全について

- JESCO東京事業所は、平成17年の施設稼働以来、約17年が経過し施設の老朽化が懸念される。  
 ○このため、施設の事故や設備故障の未然防止のため、下表のように主要機器の予防保全に万全を期している。  
 ○引き続き処理完了まで、安全第一で操業を続ける。

		R2	R3	R4 (予定)
高濃度PCB処理施設	主な設備	主 な 内 容		
	解体分別設備	ハンドリング装置ワイヤー等交換	ハンドリング装置昇降駆動部品等交換	反転装置押し出しユニット、モーター、上蓋切断昇降台部品等交換
	破碎機	劣化部品交換	素子分別装置モーター交換	
	予備洗浄装置	真空ポンプ分解整備	真空ポンプ分解整備	
	洗浄設備	弁類交換、配管整備	自動弁、蒸留共用制御盤タッチパネル交換	計装装置の一部交換
	水熱分解設備	酸素タンク圧力伝送器更新	弁の分解点検整備および交換	弁の分解点検整備および交換 中温環境下の配管減肉点検・補修
	排気処理設備			有機溶剤吸着塔更新
	その他設備	空気除湿機更新	計装設備の部品更新、シーケンサー更新	電気室等の空調機更新

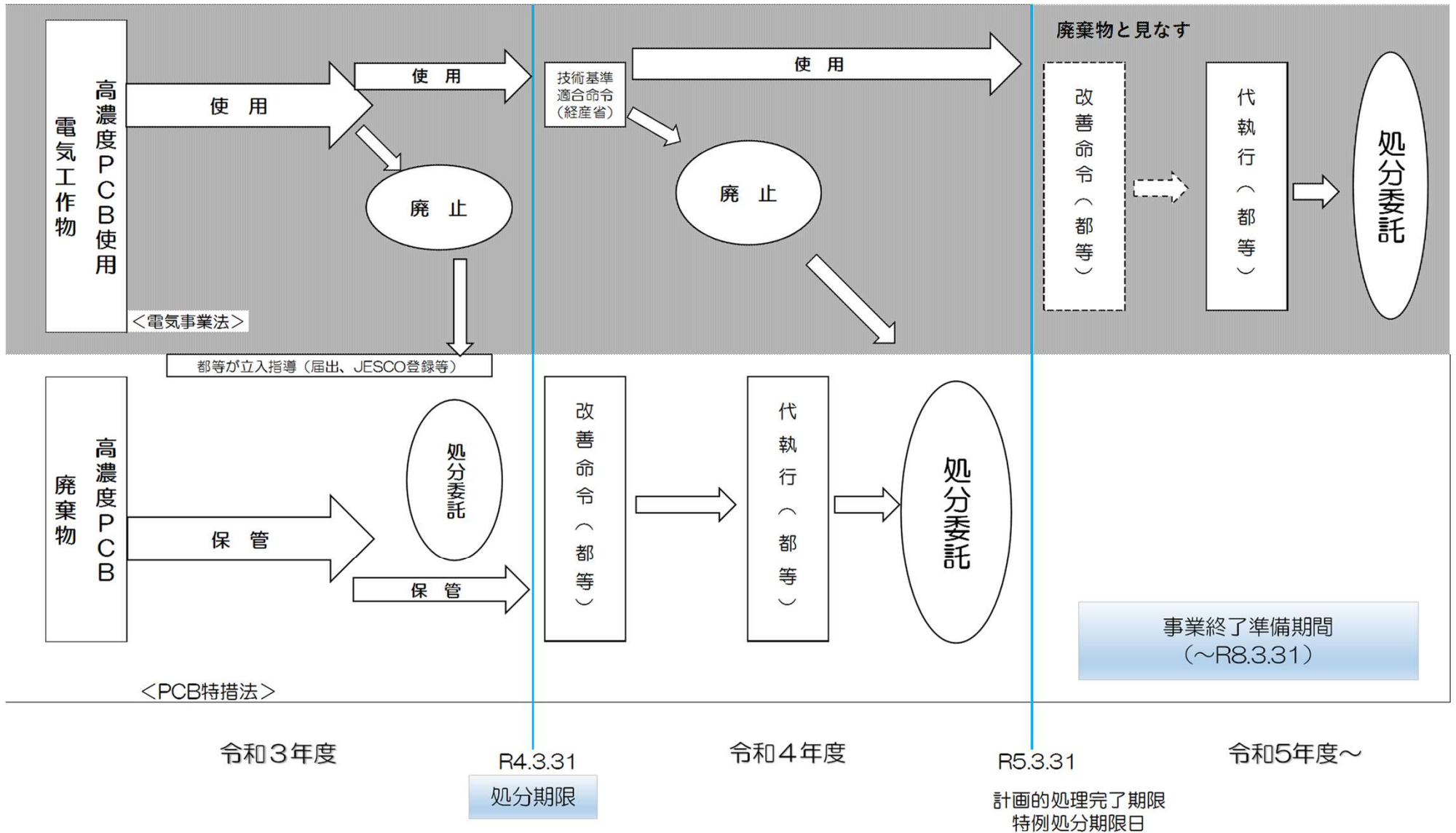
【参考】高濃度PCBの処理等の予定

- 高濃度PCBの当初の処理期限は、平成28年度末までであった。
- しかし、平成28年度末までの処理が困難な状況であったことから、国は平成23年～平成26年にかけて処理期限の見直しを検討した。（国の検討状況については、過去複数回の臨特委で説明済み）
- 検討の結果、国は下の線表のように処理期限を延長した。
- なお、施設の解体撤去工事は、処理完了後に着工する。（北九州の例を勘案すると解体撤去の期間は8年間程度を要する見込み）



H26.6.20臨特委資料より抜粋

【参考】高濃度廃棄物（変圧器・コンデンサ）の処分までの流れ



【参考】払い出す二次廃棄物等（低濃度PCB廃棄物）の処理の状況

年度別処理量

単位：t

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	累計
低濃度汚染物※1	—	—	—	217	363	355	292	235	184	204	353	417	2,620
事業者内処理物※2（参考）	11	16	12	15	11	22	42	47	34	27	52	22	310

※1：低濃度PCB無害化処理認定施設に処理委託するPCB濃度が5,000ppm以下の低濃度PCB汚染物

※2：東京事業所内において加熱処理・洗浄処理によりPCB廃棄物の処理基準未滿にして払い出した廃棄物

払い出す二次廃棄物等（低濃度PCB廃棄物）の処理先について

令和4年4月以降の二次廃棄物等処理の委託先

- 群桐エコロ株式会社（所在地：群馬県太田市）
- 光和精鉱株式会社（所在地：福岡県北九州市戸畑区）
- オオノ開発株式会社（所在地：愛媛県東温市）

令和4年9月以降に追加された二次廃棄物等処理の委託先（入札の結果、一部品目の委託先が変更・追加された）

- エコシステム秋田株式会社（所在地：秋田県大館市）：アルカリ系汚泥処理を群桐エコロから変更
- 神戸環境クリエート株式会社（所在地：兵庫県神戸市長田区）：廃活性炭、紙・木類・廃プラ等のうち荷姿追加した200ℓ鋼製ドラム缶での荷姿について、新規決定

※無害化処理認定施設への交通ルートについて、江東区内は、最寄りのインターチェンジから首都高速道路を使用